

かめはめはPRESS 77号

発行所 日本ウミガメ研究会
 発行責任者 山本明男
 0548-52-4670
 発行日 平成21年12月

第二十回日本ウミガメ会議が開催される！



にれあ。ウミガメの成長は、海に魚を食す。混獲は、漁業者が意図せず捕獲すること。混獲を減らすには、漁業者と漁業関係者が協力し、混獲防止の取り組みを推進することが重要である。

二十九年十一月二十七日から二十八日まで、第二十七回から第二十九回まで、日本ウミガメ研究会主催の「日本ウミガメ研究会」が宮崎県宮崎市の「宮崎コンベンションセンター」で開催された。この会議は、ウミガメの生息地である太平洋の沿岸国と地域、および関係機関の代表者が集まり、ウミガメの保護と管理に関する最新の研究成果や課題について話し合い、今後の取組むべき事項について協議した。

氏（徳島ウミガメ館学芸員）と温海水洋一氏（徳島ウミガメ館館長）が招かれた。会議では、ウミガメの生息地である太平洋の沿岸国と地域、および関係機関の代表者が集まり、ウミガメの保護と管理に関する最新の研究成果や課題について話し合い、今後の取組むべき事項について協議した。



松尾れい子（亀園由香役）と増田氏

この会議は、ウミガメの生息地である太平洋の沿岸国と地域、および関係機関の代表者が集まり、ウミガメの保護と管理に関する最新の研究成果や課題について話し合い、今後の取組むべき事項について協議した。



朽ちたウミガメ保護看板と侵食された海岸

この会議は、ウミガメの生息地である太平洋の沿岸国と地域、および関係機関の代表者が集まり、ウミガメの保護と管理に関する最新の研究成果や課題について話し合い、今後の取組むべき事項について協議した。



温海水洋一氏と岩下三保氏

この会議は、ウミガメの生息地である太平洋の沿岸国と地域、および関係機関の代表者が集まり、ウミガメの保護と管理に関する最新の研究成果や課題について話し合い、今後の取組むべき事項について協議した。

この会議は、ウミガメの生息地である太平洋の沿岸国と地域、および関係機関の代表者が集まり、ウミガメの保護と管理に関する最新の研究成果や課題について話し合い、今後の取組むべき事項について協議した。

本年度のウミガメ会議が終了して、全国の情報から牧之原市のウミガメを取り巻く環境の変化が見えてくる。全国的なウミガメの生息地である太平洋の沿岸国と地域、および関係機関の代表者が集まり、ウミガメの保護と管理に関する最新の研究成果や課題について話し合い、今後の取組むべき事項について協議した。

